

週刊 タバコの正体

この写真、見覚えがあると思います。「BRYAN DIED AGED 34」と書いているのがわかりますか。13歳からタバコを吸い続けた結果、34歳の若さで肺ガンでなくなったブライアン・リー・カーチスさんの写真がタバコのパッケージに載っています。



これは、オーストラリアで売られているタバコです。

オーストラリアでは、どのタバコも黒色で警告写真がついていなければ販売できません。タバコの銘柄は文字で書かれているだけで、ブランドのロゴなどは一切掲載できないという法律ができたのです。

そして、その値段も1000円以上もします。



対して、日本では街のいたるところに左のような自動販売機が設置されていて、カラフルなパッケージのタバコが400円ほどで売られています。

いかかでしょうか。オーストラリアでは“タバコを買わせない”ようにしているのに、日本では“タバコを買わせよう”としているように感じませんか。

タバコは吸わない方がいいのに、簡単に手に入る環境にある日本では、「タバコは必要ない」と強い意思を持っていなければ、タバコの害から自分を守ることができないのかもしれない。でも皆さんは大丈夫ですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久